E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 00 ご使用上のお願い --フラッシュ開発ツールキット Ver.3.3での フラッシュメモリ書き込みについて--

E8エミュレータソフトウェアV.1.02 Release 00の使用上の注意事項を連絡します。

- フラッシュ開発ツールキットVer.3.3を使用したフラッシュメモリ書き込みについて

1. 該当製品

E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 00 とフラッシュ開発ツールキット (HS6400FDIW3SR) Ver.3.3の組み合わせ。

2. 内容

E8エミュレータをフラッシュメモリ書き込みのアダプタボードとして使用する場合、フラッシュ開発ツールキット起動時に書き込み対象MCUとして以下のR8C/10～R8C/13グループMCUを選択すると、約30 msの間 MCUがシングルチップモードで動作します。その結果、MCUが暴走し、SFRなどの内蔵資源を書き換え、ターゲットボードの部品を破壊する可能性があります。シングルチップモードで動作した後は、正常にブートモードになります。

R8C/10グループ : R5F21102, R5F21103, および R5F21104

R8C/11グループ : R5F21112, R5F21113, および R5F21114

R8C/12グループ : R5F21122, R5F21123, および R5F21124

R8C/13グループ : R5F21132, R5F21133, および R5F21134

注意 : E8エミュレータソフトウェアV.1.02 Release 00に含まれるファームウェアに問題があります。フラッシュ開発ツールキット Ver.3.3には問題ありません。

3. 暫定対策

R8C/10～R8C/13グループMCUに書き込む場合は、E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 00とフラッシュ開発ツールキットの組み合わせを使用しないでください。書き込む場合は、E8を

Writing Flash Memoryモードで使用してください。

Writing Flash Memory モードについては、E8エミュレータ ユーザーズマニュアルのデバッグ編 4.3.3「Writing Flash Memory モードの設定」を参照してください。

4. 恒久対策

E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 01でファームウェアを修正します。R8C/10～R8C/13グループMCUにフラッシュ開発ツールキットを使用して書き込む場合は、E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 01を使用してください。V.1.02 Release 01へのアップデートプログラムはオンラインバージョンアップサイトから入手してください。

アップデートプログラムの公開日が決定しましたら、ツールニュースで再度連絡します。

E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 01をインストール後、E8エミュレータソフトウェアのシステムチェックを実行し、ファームウェアをダウンロードしてください。システムチェックは、E8エミュレータ ユーザーズマニュアルのデバッグ編 3.8「システムチェック」を参照してください。

5. 注意

E8エミュレータソフトウェア V.1.01以下は、R8C/10～R8C/13グループMCUをサポートしていません。R8C/10～R8C/13グループMCUのプログラム開発は、E8エミュレータソフトウェア V.1.02 Release 01 を使用してください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。